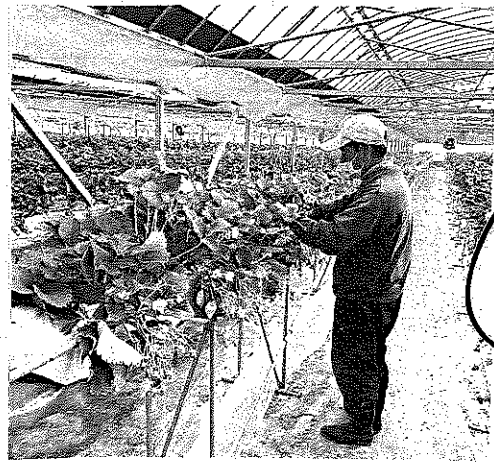


# 見て感じて♡食べてみよう! ~生産者さんをご紹介します~

自然が豊かで、気候もよい益田市には、おいしい食べ物がたくさんあります。その中の一つに甘くておいしい「美都いちご」があります。3月1日の給食には、今が旬の「美都いちご」が登場します! 今回は、いちご作りについて取材をさせていただいたので紹介します。

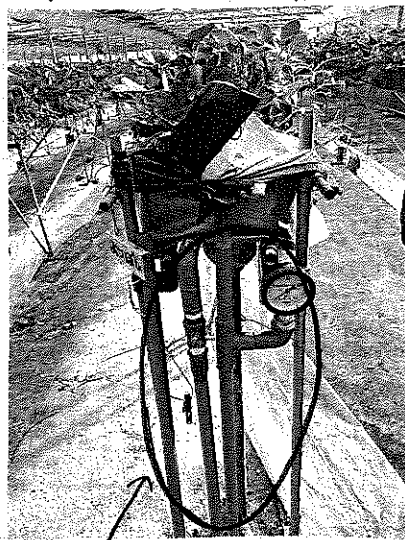


田中農園の  
田中克典さんに  
お話をきかせていただきました。

ご協力ありがとうございました。

「美都いちご」は地域を代表する食べ物でもあるので、とにかく量よりも質にはこだわって、おいしいいちご作りをしています。小中学生のみなさん、将来の選択肢の一つとして、いちご農家はとてもおもしろいです。日本のいちご栽培の技術は、これからもっと上がっていきますよ!

## いちごが植わっている高設ベンチ

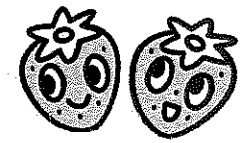


パイプ

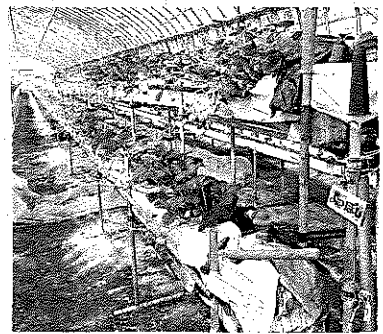
いちごは温かくないと大きくなりません。ベンチには管が通っていて、中にお湯を流して土を温めているそうです。肥料も管を通してやっているそうです。

土から離れた高いところ(高設ベンチ)で栽培されています。

良い点



- ・土にいちごの実がつかないのでもきれいにできる。
- ・収穫作業の姿勢が楽になる。
- ・土に比べて、苗を植える本数を増やすことができる。
- ・一つの苗に花がたくさん咲くと実が小さくなるので、いくらか花をつみとるそうです。(このバランスも重要!!)
- ・収穫は、一つ一つ丁寧に手作業で行っておられます。

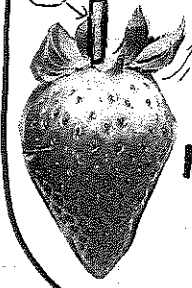


長いベンチには約350本の苗が植えられています。大小合わせて7棟のハウスがあり5人で全ての作業をしておられます。

田中農園さんでは6種類も育てられています!  
糸エトペ、かおりの、エフぼし、おいしベリー  
こいのか、スターナイト

## ♡甘いいちごの見分け方♡

美都いちごは、収穫を保つために、枝を多めに収穫されています。



←ヘタが反り返っているもの。  
←実が大きく張っているもの。